

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 令和4年度（2022年度）事業報告

（敬称略）

定款第5条各項により

第一項 ピアノを中心とする音楽および音楽教育に関する講習会、研修会、演奏会等の開催

■ピティナ・ピアノ指導セミナーVol.56（指導者育成委員会）

令和4年度（2022年度）は、4月23日（日）に東音ホールとオンライン、ハイブリッド形式で開催した。9名の講師が出演。様々な角度からピアノ指導を見つめ直す機会を提供した。

日程：令和4年（2022年）4月23日（日）

会場：東音ホール／オンライン

講師：金子勝子、棚瀬美鶴恵、鳥羽瀬宗一郎、日比谷友妃子、渡部由記子、石井なをみ、土持恵理美、横山真子、為末大（敬称略・出演順）

■ピティナ・ピアノセミナー（本部事務局）

令和4年度（2022年度）は、657箇所で開催。

■ピティナ・eラーニング（本部事務局）

令和4年度（2022年度）は、ピアノ指導に関するコンテンツを256件公開。年度末時点の登録者は4,498名。

■研究発表ピティナコンサートシリーズ（コンクール運営委員会）

○2022年度第46回ピティナ・ピアノコンペティション ソロ・デュオ部門入賞者記念コンサート

日程：令和5年（2023年）3月26日（日）

会場：第一生命ホール

出演者：第46回ピティナ・ピアノコンペティション A1級～特級、連弾初級A～連弾上級 入賞者33組

○2022年度特級ガラコンサート

日程：令和5年（2023年）2月19日（日）

会場：J:COM浦安音楽ホール

出演者：第46回ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナリスト4名

○2022年度第46回ピティナ・ピアノコンペティション グランミュージック部門入賞者記念コンサート

日程：令和5年（2023年）2月18日（土）

会場：王子ホール

出演者：第46回ピティナ・ピアノコンペティション グランミュージック部門 入賞者15組

○グランミュージック・サロン

令和4年度（2022年度）は7件実施。

主催者：樋口あゆ子、木米真理恵、金子淳

会場：タカギクラヴィア松濤サロン、名曲喫茶カデンツァ、B-tech Japan Studio Tokyo

○十代の演奏家シリーズ「森本隼太ピアノリサイタル」

日程：令和4年（2022年）5月7日（土）

会場：浜離宮朝日ホール

出演者：森本隼太（2020年特級銀賞／2017年福田靖子賞第1位）

○特級グランド・コンチェルト2022

日程：令和4年（2022年）5月1日（日）

会場：サ・シンフォニーホール

出演者：森本隼太（2020年特級銀賞）・尾城杏奈（2020年特級グランプリ）・亀井聖矢（2019年特級グランプリ）

■研修交流会アンサンブルパーク（アンサンブル・国際交流委員会）

令和4年度（2022年度）は開催なし。

■トークコンサート（ステップ運営委員会）

令和4年度（2022年度）は190地区開催。

■プレアドバイザー研修会（アドバイザー派遣委員会）

令和4年度（2022年度）は13回実施し54名が受講した。その成果により、2022年度中に49名が正アドバイザーとして承認された（※）。※2021年2月から2022年1月までにプレアドバイザー研修を終えた方が対象

第二項 ピアノを中心とする音楽指導者および学習者等の技能の審査、コンクール等の実施

■第46回ピティナ・ピアノコンペティション（コンクール運営委員会）

予選・本選：

全部門（ソロ部門A2～特級、デュオ部門及びグランミュージズ部門）を予定通り開催。新型コロナウイルス感染症対策の留意しつつも、通常通り各地区で実施。予選参加組数は28,927組（前年比108%）となった。

準本選：

開催2年目となる動画企画「準本選」も引き続き実施。予選を通過できなかった方および事情により本選に参加できなかった方を対象に、四期認定を目的とした動画コンクールを開催。262組が参加した。

課題曲チャレンジ

2020年度より実施している動画提出型・次選なしで課題曲学習に寄与する企画は、22年度も継続実施。累計822組が参加。

・ピティナ・ピアノコンペティションへの審査員派遣（審査員選考委員会）

令和4年度（2022年度）は、344地区のピティナ・ピアノコンペティションへ788名、延べ1,933人の審査員を派遣した。当該年度に初めて審査を行ったのは50名。また、前年に続き実施した課題曲チャレンジの採点に47名、延べ511名に協力いただいた。2021年度から開始した準本選は、20名の審査員に協力いただいた。

■ピティナ・ピアノ演奏検定（コンクール運営委員会）

令和4年度（2022年度）は11組が受検。

■ピティナ・ピアノステップ（ステップ運営委員会）

令和4年度（2022年度）は570地区が開催され、前年比119%を越える43,457組が参加した。

・ピティナ・ピアノステップへのアドバイザー派遣(アドバイザー派遣委員会)

令和4年度（2022年度）は、ステップへ750名、延べ1,750人のアドバイザーを派遣した。当該年度に初めて正アドバイザーとしてアドバイスを行ったのは56名。

■ピティナ・ピアノ指導者ライセンス（指導者育成委員会）

令和4年度（2022年度）は、延べ23地区で指導実技審査・演奏実技審査・レポート審査を実施。受検者は延べ462名。

■全国一斉課題曲筆記試験（指導者育成委員会）

令和4年度（2022年度）は、延べ13地区で開催。うち4地区はオンラインでの開催。春期はコンペティション課題曲、秋期は提携コンクール課題曲を題材とした筆記試験（指導者ライセンス筆記試験、ingプログラムWriting）を実施。受検者は延べ200名。

■提携コンクール（理事会）

外部団体主催のコンクールにウェブ申込システムの提供とステージポイントの共有を行った。令和4年度（2022年度）は44種類・292地区のコンクールと提携。申込数は延べ27,491件。

第三項 音楽および音楽教育に関する調査研究、情報公開

■機関誌「Our Music」363号より計6回発行（理事会）

362号を「令和4年度（2022年度）ピティナ・ピアノコンペティション参加要項」として刊行。

■新曲作品募集とその選考（本部事務局）

譜面審査：

令和5年（2023年）1月18日（水）

令和5年（2023年）1月23日（月）

応募88曲から7曲をコンペティション課題曲候補として検討。

■ピティナのウェブサイト上で「ピアノ曲事典」の掲載・更新（メディア委員会）

ピティナ・ピアノ曲事典（ウェブサイト）の構築。令和5年（2023年）3月末時点で、約2,600人の作曲家情報と8万2千曲の作品情報を公開中。

■ピティナ音楽研究所

令和4年（2022年）4月に新設し、同年6月の理事会で設置に関する項目の追加が承認された。科学研究助成の申請機関となることを目指し、同年9月に文部科学省から「指定通知」を受けた。

■公開録音コンサート（メディア委員会）

令和4年度（2022年度）は12公演を実施（2010年1月からの通算開催数：279回）。今年度の全公演の入場料収入合計は829,500円であった。また、75曲の新規音源をピティナ・ピアノ曲事典に登録した。

■音楽総合力UPワークショップ（メディア委員会）

「音楽家としての自立」をテーマとした10組の講師による連続講座（通算13回目）。講師はピアニストの阪田知樹氏や作曲家の近藤譲氏などを招いた。

■オンデマンド楽譜印刷・製本サービス「ミュッセ」（本部事務局、課題曲選定委員会）

商品を自由な組み合わせ・曲順で楽譜集にまとめられるオンデマンドの楽譜印刷・製本サービス。販売中の作品数は8,595点（2023年5月2日時点）。個人出品物の販売に加えて、ピティナ事業に関わる作品の販売として、コンペ課題曲やアナリーゼ楽譜の単品販売のほか、編曲オーディションの受賞作品を褒賞として販売。

第四項 ピアノを中心とする音楽教育に関する国際交流事業の実施

■世界の諸地域との交流・情報交換

○イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、オーストリア、ロシア、ポーランド、トルコ、アイルランド、フィンランド、中国、香港、韓国、タイ、フィリピン、モンゴル、インドネシア、シンガポール、アメリカ、カナダ、MTNA（The Music Teachers' National Association of U.S.A.）、EPTA（European Piano Teachers Association）、FACP（Federation for Asian Cultural Promotion）、World Federation of International Music Competitions（国際コンクール世界連盟）等との情報交換。

○浜松国際ピアノコンクール事務局・仙台国際音楽コンクール事務局（日本）、リスト国際コンクール事務局（オランダ）、エリザベート王妃国際音楽コンクール（ベルギー）、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール事務局・クリーブランド国際ピアノコンクール事務局・ジーナ・バックアウワー国際コンクール事務局（アメリカ）、アーリンク・アルゲリッチ財団等との情報交換。

○来日アーティスト

令和4年度（2022年度）は、2020～2021年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により、コンペティション審査員やその他の音楽家の単独での海外招聘を見送り、すでに来日予定のあった海外アーティスト（配偶者が日本人であるなど）や日本の音楽大学の客員教授で着任している海外教授を審査員やマスタークラス講師に迎えた。

第五項 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

■ピティナ・学校クラスコンサート（理事会）

令和4年度（2022年度）は32校で開催。

内訳（出資元別）：支部・ステーション9校、自治体・教育委員会11校、文化庁派遣事業10校、学校主催2校

■ピティナ・ピアノ教室紹介（理事会）

11,282件（2023年3月末日時点）

■ピティナ伴奏者紹介（理事会）

39件（2023年3月末日時点）

■ピティナ調律師紹介（理事会）

51件（2023年3月末日時点）

■専門家によるオンライン無料相談窓口

経営相談：46件

法律相談：3件

終活関連相談：2件

（2023年3月末日時点）

■寄付金（理事会）

下記の事業およびプロジェクト、または関係団体への寄付として合計7,126,341円／735件の寄付を集めた（2023年3月末日時点）。寄付方法は、ピティナ・ウェブサイトからの申込（クレジットカード等）、指導者賞賞金による寄付など。

○ピティナのプロジェクト

ー各事業への寄付：ピアノ教室紹介、ピアノ曲事典を中心に、ピティナの全事業が対象

ー新規プロジェクト：2022年特級クラウドファンディング

○関連団体 公益財団法人福田靖子賞基金

■東日本電信電話株式会社（NTT東日本）との協業

NTT東日本のデータ解析技術やDXに関するノウハウにより、ピアノレッスンの現場での指導効果を高めるために、生徒の自宅学習をサポートするAI演奏採点システムの検証やデータ分析を進め、将来的には、音楽教育全体で活用できるサービスの展開を目指す。

■当協会の目的達成に協力する団体等との連絡提携

- 公益財団法人 福田靖子賞基金
- 一般社団法人 日本ピアノ調律師協会
- 一般社団法人 日本楽譜出版協会
- 公益財団法人 東京二期会
- 一般社団法人 日本弦楽指導者協会
- 公益財団法人 音楽鑑賞教育振興会
- 一般社団法人 FACP日本
- 音楽教育を守る会
- デジタルアーカイブ学会
- 日本音楽芸術マネジメント学会
- 教育立国推進協議会
- 全国の市町村及び市町村教育委員会
- 当協会団体会員（57団体）
- 公益社団法人 日本演奏連盟
- 公益社団法人 日本オーケストラ連盟
- 一般社団法人 日本作曲家協議会
- 公益財団法人 音楽文化創造
- 一般社団法人 日本クラシック音楽事業協会
- 仙台国際音楽コンクール
- アーリンク・アルゲリッチ財団
- 日本民間教育協議会
- 日本音楽学会
- 日本音楽教育学会
- 慶應義塾大学
- 全国の音楽学校、音楽大学

以上の団体との情報交換。